

## 各種懇談会・意見募集等で頂いたご意見・ご提言

生活・地域等領域	.....	1
産業等領域	.....	7
教育・文化等領域	.....	10
自然環境・社会基盤領域	.....	13
道路（特定の道路に係るもの）	.....	18
治山・治水・砂防（特定の箇所に係るもの）	.....	20
計画推進の基本姿勢に関するもの	.....	21
基本目標等	.....	23

意見・提言の寄せられた場	件数
ボイス81（10地域）	230
車座集会（2会場）	70
意見募集（手紙、インターネット）	36
職員提案	76
計	412

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項目	意見・提言等
医療	<p>地域の基幹病院の医師不足が問題となっている。少子高齢化が進む地域だが、地域で安心して住め、産めるような地域医療の充実について対策を講じてほしい。</p> <p>医師の確保が重要</p> <p>地域住民が安心して生活するため必要な医師確保の調整を行うシステムの構築</p> <p>須坂病院を医師確保のための基幹病院とし、県民医療室を設置し、同時に自治医科大卒業医師を配置してそこを本に医師の根付きと地域医療を担う医師の確保を図る。須坂を基幹病院にして中核的病院をいくつかの地域に置き、そこから地域の医療に携わる医者を派遣する。</p> <p>自治体病院に対する医師確保の支援策と自治医科大卒業医師の派遣</p> <p>町立病院への県による自治医大卒医師の派遣</p> <p>地域医療体制充実のための公的病院の経営安定化支援と医師確保</p> <p>地域医療の厳しい状況と、医師、特に産科医確保の困難な中、自治体病院に対する独自の支援策と医師の確保</p> <p>国保診療所への医師派遣の継続</p> <p>地域の中核医療機関、介護保健施設等の医師、看護師の確保</p> <p>へき地医療の確保に限らず、中核病院に対しても医師確保に向け、医師バンクの設置など具体的施策を早期に講じてほしい。</p> <p>中核病院なのに麻酔科の常勤医師が不在なので、財政面も含め支援してほしい。</p> <p>地域の中核病院の存続維持に向けた医師確保、財政支援への県を挙げた取組み</p> <p>地域の中核病院の出産取り扱い復活に向けた産科医の増強</p> <p>産科医確保について特に力を入れてほしい</p> <p>産婦人科医を中心とした女性医師や看護師の再就職への支援</p> <p>小児科医・産科医確保のため奨学金制度等県としての対策の実施</p> <p>医師確保のための奨学金制度を県と事情を抱える自治体が連携して検討</p> <p>医療圏の中に医師確保に係る有効な協議の場を設置</p> <p>勤務医不足の解消、研修医制度について知事会等を通して国に意見してほしい。</p> <p>地域医療体制充実のための看護師確保</p> <p>看護職員確保のための奨学金制度を県と事情を抱える自治体が連携して検討</p> <p>病院内保育所の支援充実</p> <p>須坂看護専門学校3年課程の定員増</p> <p>木曾看護専門学校を3年制とし、准看護師でなくても入学できるようにしてほしい。</p> <p>遠隔地・山間へき地を多く抱えるため、ドクターヘリの更なる配備とDMAT（救命処置を行う災害医療派遣チーム）の設立が必要</p> <p>県立須坂病院の医師・看護師確保と精神科充実</p> <p>県立阿南病院の医師確保</p>

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項目	意見・提言等
	<p>三遠南信自動車道の開通や周辺の人口増加、東海地震の際の受け入れ病院とするため、県立阿南病院の建設予定地を天竜峡インターに近い場所に確保する。</p> <p>県立木曽病院に勤務する医師の処遇、生活環境改善の一層の取組</p> <p>県立木曽病院における森林セラピーの専門的な知識のある医師の確保</p> <p>県立こども病院が難病の子供の中心的センターとして機能することが損なわれないように配慮</p> <p>脳疾患後のリハビリテーション施設の近隣（南信）への設置</p> <p>高齢化に伴い予測される通院者増加に対応するため、医者・看護師等の適正配置、総合病院等の施設の充実、高齢者に対する医療費等の軽減を図る。</p> <p>町立病院の高度な大型医療器械の更新への県の支援</p> <p>医師不足を補うため、病院総合システム開発や保険証への電子認証機能の追加など診察の効率化を図る。</p> <p>後期高齢者医療保険制度について、運営協議会の設置、短期保険証や資格証明証の発行を行う必要がある。</p> <p>ウイルス肝炎医療費に係る通院医療費の給付継続</p>
健康づくり	市町村保健師の需給関係の調査と対応
高齢者福祉	<p>福祉業務の多くが市町村業務と位置付けられた中、長野県として何を大事にして福祉行政を進めるのか示してほしい。</p> <p>高齢化に伴い予測される通院者増加に対応するため、医者・看護師等の適正配置、総合病院等の施設の充実、高齢者に対する医療費等の軽減を図る。</p> <p>高齢者や高齢者を抱える家族が安心して生活できる援助対策や介護養老施設の充実</p> <p>高齢者、障害者、独居者が利用可能な小規模なグループホームの整備促進</p> <p>高齢化の福祉施設、病院、在宅の一体的福祉政策の県を目指してほしい。</p> <p>高齢者福祉施設への雇用促進</p> <p>地域で弱者を守る体制を強化するため、ボランティア団体等への物的・人的支援の推進やタクシー・小型バス等の公共交通機関や地域の医療・福祉体制の充実。</p>
障害者福祉	<p>福祉業務の多くが市町村業務と位置付けられた中、長野県として何を大事にして福祉行政を進めるのか示してほしい。</p> <p>障害者の自立を促し、社会参加を促進するため、県単障害者タイムケア事業の年間300時間を堅持</p> <p>高齢者、障害者、独居者が利用可能な小規模なグループホームの整備促進</p> <p>高遠と長谷へのグループホームの設置</p> <p>聴覚障害者のグループホームがないので設立に協力してほしい</p> <p>障害者自立支援法、地域生活事業の中のコミュニケーション支援事業については応益負担を求めないことになっているが、有料の村があるので無料にしてほしい。</p>

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項目	意見・提言等
	<p>精神障害者の生活支援のNPO法人を立ち上げたが、予算など満足にもらえない。自立支援法は、本人や事業所に厳しい面があるので、国に働きかけてほしいし、弱者に優しい県であってほしい。</p> <p>障害者の給料アップ</p> <p>障害者自立支援法で小さな共同作業所が大変困っているの、それについて温かな行政をお願いしたい。</p> <p>木曾障害者総合支援センターへの県職員のコーディネーターの派遣継続と財政支援</p> <p>ろうあ相談員の予算が廃止されると聞いたので、市の障害者支援センターでできるよう続けてもらいたい。また、手話通訳者にいつでも相談できる環境にしてもらいたい。</p> <p>上伊那地域の高齢ろうあ者を支援するボランティアグループの運営がヘルパーの高齢化や資金難で困難になってきたので、県や市町村で手立てを考えてほしい。</p> <p>車座集会の手話通訳とパソコン要約筆記の継続</p> <p>聴覚障害者に災害時の情報提供ができるシステムと聴覚障害者に優しいマニュアルの整備</p>
子育て	<p>「こどもの健やかな育ちを見つめています。」をキャッチフレーズとし、子供を健やかに地域の中で育ていけるよう、住民の取り組みに対し一層の支援をする。</p> <p>労働力人口の流入拡大のための豊かな子育て・子育ての地域ブランド化</p> <p>保護者の保育要望に沿って様々な保育形態を取る自由保育所（認可外保育施設）の支援充実</p> <p>放課後児童クラブ設置の補助への市町村要望に応える県の十分な予算措置</p> <p>小児科・産婦人科医の確保と施設の充実による子供を産み育てやすい環境の整備</p> <p>関係機関が自発的に、かつ意識的に乳幼児の体調、健康状態等への細やかなまなざしをむける。</p> <p>小学校就学前までの医療費支援を小学校3年生まで拡大</p> <p>出会いの場の少なさや仲を取り持つ人の減少から、行政としても既存の相談制度を超えて「世話焼きおじさん、おばさん」といった信頼性のある認定のセブプロやボランティアの導入など、しくみや機会づくりが必要。</p> <p>身近な所への児童相談所の設置と虐待等の予防的活動まで対応できる体制づくり</p> <p>虐待が疑われるケースや心理発達面で心配なケースが増加しているため専門職の介入が必要なこともあり、心理職を増員してほしい。</p> <p>チャイルドラインは全国でも非常に優れているので、今後も県は表に出ず、さりげなく支え維持してほしい。</p> <p>ピアエデュケーションの機会拡大による児童虐待予防、母子施策の充実</p>
男女共同参画	<p>5～10年の間に校長、教頭の女性比率を全国で中程度まで高めてもらいたい。</p> <p>副知事二人のうち一人の女性登用を検討してほしい</p> <p>男女共同参画行政の推進を後退させないでほしい</p> <p>DV被害者への総合的・継続的支援と夜間休日対応を可能とするため、担当する女性嘱託職員の専門職員化と増員</p>

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項目	意見・提言等
生活援護	生活保護法に基づく救護施設の大規模修繕への財政支援
勤労者福祉	人口減時代（労働力不足・市場縮小）における生き残り対策という企業経営の視点でのワーク・ライフ・バランスの推進
	高校の卒業時に配布している社会部労政課作成のルールブックを企業の使用者側などにも配布
	県で労働実態調査を実施しデータを実態に反映
	この5年間で女性の非正規雇用が増え男女の賃金格差が拡大
防災体制	聴覚障害者に災害時の情報提供ができるシステムと聴覚障害者に優しいマニュアルの整備
	集落内道路の除雪を行う小型除雪機の配備への補助
	県職員が救命講習を受講しバスターとして救命活動を行う救急救命体制の充実
	小学校耐震改修事業の県費補助制度（国補助への上乗せ）の創設
	大規模災害に備えた各地区へのヘリポート・倉庫など防災拠点の一元的な整備
	災害時に民間テレビ局が映像を対策本部に送信する協定や、民間ヘリ会社による傷病者搬送の活動協定締結など民間委託による災害時対策の補完
交通安全	学校の近くを走る道路への信号機の設置
	子どもや高齢者への犯罪・事故を未然に防ぐため、車両の入れない生活ゾーンや楽しく安全に歩ける歩道、子どもの遊び場の整備
	交通安全キャンペーンで、外国人の母国語で交通安全のビデオをつくり、新規交付や免許更新時に見せれば役に立つ。
	運転免許センターのない東信及び南信地域に運転免許サブセンターを設置して運転免許・講習業務を行い、住民の利便性向上を図る。
治安	自治会等を核とした安全・安心なまちづくりを進める地域活動推進組織の整備促進
	観光県として良好な治安が必要であり、防犯活動実績が良好な団体や市町村に対し、財政支援制度を導入するなど、安全活動の活性化を図る施策の推進
	公共施設での車上狙いや子どもへの犯罪防止を目的とした防犯カメラの設置
	警察官駐在所を交番へ移行することにより、多様化する住民要望にこたえる体制づくりを強化してほしい。
	松川村の駐在所老朽化に伴う信濃松川駅前交番の設置
食品・医薬品等の安全	食を中心としたイベントを開催する場合に諸条件が厳しい。保健所でどのようにしたら諸条件をクリアできるか教えてほしい。
	四阿山の麓に県の施設で薬草園があるが現在閉鎖状態。今でも民間人のボランティアが手入れを行っており、県の事業として支援してほしい。
地域づくり	地域活動の活性化が重要
	町の美しい自然や資源を活用し、景観を重視した潤いのあるまちづくりを推進するため、町花を活かしたまちづくりを進めているので支援をしてほしい。
	町では民間が主体となって民公共同で商業や観光を中心とした地域振興に取り組んでいる。行政主体でなく民間の発想でまちづくりを進めることが大切。積極的な助成をしてほしい。

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項目	意見・提言等	
(農山村)	箕輪ダム周辺の観光開発への元気づくり支援金での援助	
	コモンズの支援制度の継続	
	コモンズ支援金の継続	
	〃	
	中山間地においては農業経営の安定化や地域全体で担い手を支えていくという意識の高揚を図ることが必要との観点からの積極的な支援	
	中山間地で暮らしが成り立つ「新しい村」の仕組みの研究が必要	
	農作物被害が深刻な野生鳥獣の対策の継続と野生鳥獣を地域の観光資源、食文化として発信できるような検討	
	農産物に大きな被害を与える有害鳥獣対策の実施	
	野生鳥獣が日夜出没し、庭木、作物が荒らされるので何とかしてほしい。	
	有害鳥獣駆除は広域的な対応がなければ効果が上がらないので、県で仕組みづくりをしてほしい。	
	有害鳥獣駆除は一つの村だけでやってもどうにもならないので、県が中心になってやってほしい。	
	野生鳥獣(熊)による農林作物被害を減らすための捕獲数の増と捕獲許可の簡略化	
	サル被害地区において、人の生活圏に隣接する山林を県協力を得て整備（サルの隠れ家をなくす）したところ効果があった。他の地域にも広げたいので事業を継続してほしい。	
	地域間の交流・連携	県境の課題を協議等するため、岐阜県側と副知事同士の話し合いをしてほしい。
	広域的な行政	地方分権が進む中、改めて市町村合併を進めたいと考えているので、具体化の場合、県に支援、協力してほしい。
「自主的な市町村の合併の推進に関する構想」の作成及び県の合併支援の充実強化		
県で合併構想を策定する審議会の設置準備をしているが、足腰の強い基礎自治体をつくるため、この構想において、県が合併の枠組みを提示するなど積極的な姿勢を示してほしい。		
県が設置する市町村合併に関する審議会は、意見を聴く機関としてのみでなく、勧告を行うなど、合併を希望する市町村を支援してほしい。		
県の合併推進審議会設置が合併を押し付けることにつながらないよう慎重な対応		
合併市町村の望む効率的で合理的な事業への市町村合併特例交付金の予算規模の拡充		

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項 目	意見・提言等
	合併特例交付金の総額が保証されるよう予算枠の拡大と、採択基準を合併市町村の実情に合わせて柔軟に対応できるものとしてほしい。
	合併特例交付金の基準を緩和し市町村の視点と立場に立った制度へ修正するとともに、合併に起因した事業なら効果が間接的であっても対象にしてほしい。
	合併特例交付金が制度上規定されている交付額から減額されているため、要求どおり交付してほしい。
	地方分権の推進と住民に身近な行政サービスの総合的な提供を目指し、市町村への事務権限移譲を抜本的に進め、広域連合に地方事務所等を統合した広域自治体としての広域連合を受け皿として、県の事務権限と各市町村における共通事務をできるだけ広範囲に移譲してはどうか。
	県と市町村の役割分担の再構築を図るべきで、そのための審議機関の設置
	住民に最も身近な市町村の自己決定権を確立することから、県から市町村へ権限を委譲してほしい
	広域連合が設置された当時と比べて市町村合併の進展など状況は激変している。一部事務組合が対応できると思われる部分もあり広域連合が現状のままでよいか。

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項目	意見・提言等
新産業の創出	地方の活性化には地域での産業創出が必要。起業のアイデアを持つ人を募り、プレゼンなどをしてもらい、モノになりそうなものに資金調達、会計処理、法人設立などのサポートをし、その間の生活保障もするような支援ができないか。
工業	<p>坂城テクノロジーのような町村が独自で設置する地域の産業支援機関の運営に係る財政支援と県職員派遣等の人的支援</p> <p>世界的なエネルギー価格の高騰に備えた再生エネルギー導入の促進と関連環境産業の育成</p> <p>自然を生かした食品産業の育成が必要</p> <p>県中小企業融資制度資金制度について、市町村負担の廃止、負担割合の見直し等制度の見直し</p> <p>地域経済の再生、雇用の維持確保のため、起業誘致への県の積極的な支援</p> <p>地域経済の先行きが心配であり、企業誘致に支援してほしい。</p> <p>千年持続技術等をコンセプトに自然環境の活用を目的とする企業の研究部門や研究教育機関の誘致</p> <p>村の工業団地への企業誘致に対する県の支援</p> <p>活力ある地域づくりを進めるためには、高い企業理念を有し活動が社会的に認知されて多くの消費者から支持を得ている企業を誘致することが必要。地域の特性を理解し、地元の商店街活動や営農にも連携できる企業の情報提供や、交流等を県で支援してほしい。</p> <p>地域発展の核となる小規模な工業立地のためのアクセス道路等の環境整備</p> <p>農振除外の手続きを早くして優良企業に入ってもらえるようにしてほしい</p> <p>「1市町村1商工団体」に向かって進めるが、やり方については県の方針を一方向的に押し付けるのではなく一緒になって考えてほしい。</p> <p>下伊那地域は自立度を上げるため外貨獲得と地域内循環を目的に経済活性化プログラムに取り組み、地域経済の底上げを図っているので、産業政策について地域の市町村と一緒に議論してほしい。</p>
商業	<p>県中小企業融資制度資金制度について市町村負担の廃止、負担割合の見直し等制度の見直し</p> <p>町では民間が主体となって民公共共同で商業や観光を中心とした地域振興に取り組んでいる。行政主体でなく民間の発想でまちづくりを進めることが大切。積極的な助成をしてほしい。</p> <p>福島県が全国に先駆けて大型店出店規制条例を出した。上田市のJ T跡地に大型小売店を誘致すれば、現在のその駅前店は閉鎖になると思われるが、車を運転できない高齢者は大変困るので何らかの規制が必要。</p> <p>「1市町村1商工団体」に向かって進めるが、やり方については県の方針を一方向的に押し付けるのではなく一緒になって考えてほしい</p> <p>下伊那地域は自立度を上げるため外貨獲得と地域内循環を目的に経済活性化プログラムに取り組み、地域経済の底上げを図っているので、産業政策について地域の市町村と一緒に議論してほしい。</p>
農業	<p>農業の担い手がまだまだ少ない</p> <p>農業後継者不足の現状を踏まえ、農地の荒廃を食い止めるための方法を研究してほしい。</p>



## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項目	意見・提言等
	<p>県外からの農業就業者の受け入れについて、県と市町村が一体的な組織を創って取り組むことを考えてほしい。</p> <p>団塊の世代の定年退職を見据えて県でつくった田舎暮らし楽園信州推進協議会を会員制で各自治体の裁量による面はあるが拡充してほしい</p> <p>新規就農者への貸付金等の支援対象を認定農業者に限定せず就農研修中にも拡充</p> <p>畑かん事業の着工している箇所早期供用開始</p> <p>市内の土地改良事業の2車線道路が一部は1.5車線あるいは未施行のまま打ち切り完了となっているので事業復活を斟酌してほしい。</p> <p>小規模な土地改良事業にも手を差し伸べてほしい</p> <p>早期にほ場整備に取り組んだ地区は、施設の老朽化に伴う維持管理に係る農業者負担が大きな課題。維持管理に係る事業を創設してほしい。</p> <p>跨高速道路水路橋は地元受益者が維持管理しているが、高速道路への落下防止のための耐震補強点検・補修は県営の農地整備事業として実施してほしい。</p> <p>豪雪地帯における融雪、防災のための河川水利用が合理的であるので、頭首工の整備を補助対象にしてほしい。</p> <p>台湾では日本の農産物に高級イメージがあり、信州ブランドを活かせる。県と市町村が連携して、台中での拠点づくり等農産物の海外輸出を強化してほしい。</p> <p>世界的な食料・水の不足に備えた食の地産地消・農地維持・自給率向上の推進</p> <p>中山間地においては農業経営の安定化や地域全体で担い手を支えていくという意識の高揚を図ることが必要との観点からの積極的な支援</p> <p>住民協働による農業施設や農村環境の保全向上に向けた取組みや安全安心な農産物の生産に対する農家の営農活動を支援する事業（農地・水・環境保全向上対策事業）への県の予算措置</p> <p>農業排水が諏訪湖の汚染源の一つとの観点から減肥栽培技術の実証実験がされてきたがこの方法では手間がかかり補助がないと導入できないため、個々の農家が使える技術を確立してほしい。</p> <p>農作物残雪対策事業の発動基準は現地の積雪量で判断してほしい</p>
林業	<p>間伐の材積を基準とした県単の補助制度創設（国の補助は間伐面積を基準）</p> <p>森林造成事業の補助率をこれ以上下げないよう要望</p> <p>県産材の利用促進、首都圏への販路拡大への県の指導</p> <p>外国からの原木輸入が不安定となり、合板の製造販売に支障を来しているため、間伐材の安定的供給が可能な施策を講じてほしい。</p>
観光産業	<p>優れた自然環境を生かした「新たな観光業」の再生により特色ある観光地づくりを進めていく上での支援</p> <p>リーダーの決め手となる顧客の満足度を高めるため、おもてなしの心を「ゲストファースト」に学ぶことや宿泊ルームの要因となる接客態度・食事・清掃環境を再点検するべき。</p> <p>小布施町の実践に学ぶ地域一体のまちづくりによる観光振興</p> <p>民間活力を活用した観光案内所の増設</p>

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項目	意見・提言等
	<p>地域に関する学習・体験を通して観光案内が「ト」を育成し、地域を訪れる少人数向けツアーや個人観光客・イベントなどの機会に活かす観光振興</p> <p>国、県が推進している観光振興策の市町村への積極的な情報提供</p> <p>観光資源の整備への補助の継続</p> <p>山岳観光の振興という観点から登山道の整備への県の支援</p> <p>大河ドラマ「風林火山」終了後も資金援助や観光PRの助言をしてほしい</p> <p>人口の多い首都圏をターゲットとした重点的な誘客促進</p> <p>夏をイベントの重点時期とする観光振興</p> <p>観光客誘致と芸術・文化遺産・ウィンタースポーツの振興を結びつける。県でアート・スポーツイベントのネットワークをつくり、集積した情報を県の内外に発信し観光的視点から活用する。</p> <p>観光部に世界遺産課を設けるなど、信州の文化遺産・自然遺産の世界遺産登録を主要施策のひとつにし、観光産業の活性化につなげるべき。</p> <p>様々な芸術家が信州と縁のあることを団塊世代にPRし、講師指導のもと美術・芸術・伝統工芸など、ほんもの志向の創作体験企画による観光振興</p> <p>団塊の世代の定年退職を見据えて県でつくった田舎暮らし楽園信州推進協議会を会員制で各自治体の裁量による面はあるが拡充してほしい</p> <p>教育委員並みの関係者で構成する観光政策戦略会議の設置</p>
建設業	<p>建設工事の入札の透明性等を理由に地域や門戸が拡大された。飯田下伊那で発注される工事は、地元業者が落札できるようにしてほしい。</p> <p>急激な入札制度改革と金融環境の変化により建設業は壊滅的な状態に陥っているので、できるだけ早期に失格基準を見直してほしい。</p> <p>採算割れしてしまうような価格帯の入札制度の改善</p> <p>県の総合評価方式について、工事の実績が2ヵ年平均のため工事がとれないと実績がつかず評価点が増えられないので改革してほしい。</p> <p>豪雪災害や豪雨災害の復旧事業に今後も業界が協力できるような環境整備</p> <p>公共事業の過疎採択や県単事業の維持補修などの事業量の配分に当たっての地域格差を埋める観点からの配慮</p>
人材育成と就業	<p>上田や南信へのジョブカフェ設置</p> <p>「人づくり、ものづくり、支援環境づくり」を産業振興施策の基本目標とし、職業能力開発の推進を通じた21世紀の信州人材の育成</p> <p>南佐久ふるさと応援ステーションへのハローワークの相談窓口設置を国へ働きかけてほしい</p>

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項目	意見・提言等
学校教育	<p>小学校 30 人規模学級について市町村の協力金を前提とした現在の方法を早急に改めてほしい。</p> <p>30 人規模学級の小学校 6 年生までの全額県費負担</p> <p>〃</p> <p>小中学校に村費で配置している少人数学習指導学習習慣形成に係る講師への財政支援 複式学級の基準緩和と中学校統合に伴う教員配置の激変緩和措置</p> <p>ランク付けの高校入試を廃止し、中高一貫の義務教育をできるようにしてほしい。</p> <p>高校の統廃合を地域が安心できる形で進めてほしい</p> <p>中条高校の関係地域住民との将来構想などの十分な情報交換と特色と魅力ある高校づくりのための検討期間の確保</p> <p>上伊那農業高校定時制の存続</p> <p>〃</p> <p>木曾青峰高校の専門学科棟の整備、テニスコートの代替地・整備、移行期間中の教師の人員配置の適正確保</p> <p>蘇南高校について魅力ある高校づくりに向けた一層の取組</p> <p>県立高校職業科の整備が必要</p> <p>小中学校に村費で配置している心の教室相談員への財政支援</p> <p>総合学習や体験型教育・観光、自然文化環境を活かして発展させ、教育や大人の生涯学習等のための生きる意味を体感するような“直接（リアル）体験”のプログラムを開発し発信する。</p> <p>先人たち（高齢者）のお世話をすることで新たな教育県としての再出発をしてほしい</p> <p>LD・ADHD 児等に対する加配職員の配置を要望するとともに、こどもほっとサポート推進事業による加配職員の勤務時間に制限があるので、制限がない通年の支援をしてほしい。</p> <p>障害児加配教員の配置増と「こどもほっとサポート推進事業」の配置時間の増及び賃金単価の増</p> <p>子どもの健全育成のため、定期的に教養試験を行うなど教職員の資質を向上させるための施策を推進する。</p> <p>学校管理職試験を導入する。このことにより、管理職になるために上司にごまをすったり、県教委の言うとおりにしか行動できない管理職は排除される。また、現場の視線に立ち子供達が健全に成長していくための仕事が可能になる。</p> <p>小学校の清掃・給食の時間に担任の手助けをするサポーターをつける。（サポーターはボランティアとし、給食費を納め、学校給食を児童と一緒にとる）</p> <p>白馬高校体育館の建設</p> <p>小学校耐震改修事業の県費補助制度（国補助への上乗せ）の創設</p> <p>長野県を日本一の教育県とするため、県内に国公立大学を増設し、大学中心による長期的な教育推進を図る。</p> <p>4 年制の県立大学の設置</p>

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項目	意見・提言等
	4年制看護大学（信州佐久大学）創設に対する支援
青少年の健全育成	県青少年健全育成条例の早期制定
生涯学習	<p>町が建設する図書館への資金面等での支援</p> <p>図書館（最低限新聞雑誌の閲覧室）の祝日の開館</p> <p>国連公用語の学習会開催</p> <p>広い世代にレクリエーションの手法や昔の遊びを紹介できるエンターテインメント（生涯学習）リーダーの養成</p> <p>総合学習や体験型教育・観光、自然文化環境を活かして発展させ、教育や大人の生涯学習等のための生きる意味を体感するような“直接（リアル）体験”のプログラムを開発し発信する。</p>
スポーツ	<p>長野オリンピック関連施設の維持に対する支援</p> <p>冬季五輪など過去の巨大イベントの編纂</p>
芸術文化・地域文化	<p>上田市内の企業跡地への県民文化会館のような文化施設の建設</p> <p>東信地域に県的文化施設がないため、上田地域に建設してほしい。また、上田市内のJT跡地には中信、南信との地域間連携も含めたシンボリックな文化施設を考えているので、市で県的施設に相当するものを建設する場合は助成してほしい。</p> <p>文化財関係県費補助金の補助率の引き上げ</p> <p>文化財保護について、計画では、環境の保全と同様に文化遺産の保全として施策体系の柱の一つに位置付けるべき。限りある資源同様、先人が残してきた文化遺産も保全すべき重要な柱で公共投資の対象として今後考慮すべき。群馬県では富岡製糸場を核とした世界遺産登録の運動を県をあげて行っているが、そうした大きな文化プロジェクトを考えるべき。</p> <p>黒曜石の原産地と遺跡群（長和町等）を世界遺産として世界へ発信していきたい。広域行政の枠を超えたネットワークを築いて県全体の誇りとして発信することが成功の鍵になるので、県に事務局体制を設置してほしい。</p> <p>多様な遺産が存在する県全体を「地球遺産 信州」、地域遺産を「信州遺産」とし、「信州ミュージアム（生きている博物館のネットワーク）」としてPRする。</p> <p>観光部に世界遺産課を設けるなど、信州の文化遺産・自然遺産の世界遺産登録を主要施策のひとつにし、観光産業の活性化につなげるべき。</p> <p>信州ファンをすそ野を拓げるため、地域住民を含めた幅広い関係者参加による豊富な歴史・文化遺産の調査・発掘を行い、多様性の信州をアピールする。</p>
国際化	<p>交通安全キャンペーンで、外国人の母国語で交通安全のビデオをつくり、新規交付や免許更新時に見せれば役に立つ。</p> <p>小中学校に村費で配置している講師（外国人の児童・生徒に対する日本語指導）への財政支援</p> <p>来日している外国籍児童への教育（日本語教育、職業訓練校）の充実と多文化共生対策の強化</p> <p>外国語の通訳紹介制度や登録制度、医療通訳の研修などは、現場の実態に合ったことをやってほしい。</p>

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項 目	意見・提言等
	<p>外国出身者に向けた総合的、体系的な支援策が必要で、外国出身者の支援、通訳に対し支援してほしい。</p> <p>国際化の時代に対応した県内人材の育成と外国人人材の受け入れや外国籍住民と共に暮らすための地域の体制づくりの構築</p>
ボランティア ・NPO活動	<p>自発的社会参加活動を行政が支援・周知・表彰することにより、各々の意欲・能力・志向に応じた社会貢献のできる環境づくりを促進する。</p>

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項目	意見・提言等
循環型社会の形成	<p>ゴミのリサイクル化。分別回収が進んでいるが、処理も県内でできるような体制にしてほしい。</p> <p>全国的に最終処分場が一杯な状況に鑑み、最終処分場の拡充とゴミ分別方法の周知徹底を図る必要があるとともに、環境を守るため埋めない努力もしなくてはならない。</p> <p>廃棄物の適正処理が行き詰まらないよう、産業廃棄物等処理施設を公共関与により設置する意義は大きく、県の積極的な関与が必要不可欠であり、県の方針や役割について再検討してほしい。</p> <p>廃棄物処理について県としての廃棄物行政の基本・根本を示してほしい。焼却灰の処理、埋め立ての関係、最終処分場が少ないことなど、産業廃棄物、一般廃棄物を問わず本腰を入れた指導を。県内で出たゴミは県内で処理できる体制を確立してほしい。</p> <p>広域連合で一般廃棄物処理施設の設置を進めており、環境アセス等や国の「循環型社会形成推進交付金」の手続きを行っていくので、速やかに事業が進むよう支援、協力してほしい。</p> <p>3市町村の灰の最終処分場が数年で一杯になるため、灰溶融化施設の建設計画を進めている。県として最終処分場を新たに造る案と灰溶融化施設を造る案の是非について見解をまとめたものがあれば示してほしい。</p> <p>自然を利用した観光誘致をしているにもかかわらず、ゴミの不法投棄が見受けられることから、更なるゴミ対策を強化する必要がある。</p>
水・大気等生活環境	<p>合言葉を「100年後、長野県の川の水を飲めるようにしよう！」とし、環境先進県としての県づくりの推進</p> <p>環境先進県として河川に流入する水の県独自の水質基準の設定</p> <p>BOD、CODが危機的状況の中で、特にCODが劣化し、安心して飲める水が無くなってしまった。</p> <p>諏訪湖の浄化と埋塞を防ぐための浚渫事業の再開</p> <p>豊田終末処理場からの放流水を、諏訪湖内でなく、直接天竜川へ放流した方がよいのではないか。</p> <p>農業排水が諏訪湖の汚染源の一つとの観点から減肥栽培技術の実証実験がされてきたがこの方法では手間がかかり補助がないと導入できないため、個々の農家が使える技術確立してほしい。</p> <p>環境意識を高める街中での親水空間を確保するための2段式河川（下に本流、上を親水空間とする都市型河川）の採用</p> <p>環境先進県として下水道整備率100%の早期実現</p> <p>最優先での森林保全、環境保全、景観保全への取り組み</p>
自然環境	<p>山岳地帯の環境保護・入山者の意識向上を目的とする入山料の導入</p> <p>山での排泄による環境汚染や植物の乱獲の影響などを十分理解させた上での立入り許可の必要性和、小学校からの環境教育の推進</p> <p>環境破壊や高山植物の乱獲等を監視するレンジャーの配備</p> <p>県の保護監視員制度が十分機能していない。</p>

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項目	意見・提言等
	美ヶ原は笹が増えて高山植物が全滅的な状況になってきているため、2市1町が連携して地元のボランティア、住民含めて笹狩りを行うことになったので県も協力してほしい。
	環境先進県として現在の護岸とビ・ホ・プの間を取ったような新しい環境保全型護岸工法の開発
	野生動物に対し、保護規制だけでなく個体数管理を行い、市町村を指導、支援するとともに、専門的機関を設置してほしい。
	有害鳥獣(大型の動物)駆除の許可は県の権限であるが、クマ出没時のような迅速な対応が求められる場合は市町村長がすぐ許可を出すような迅速な対応が必要なので検討してほしい。
	緊急時の有害鳥獣駆除許可権限(ツキノクマ)が市町村に移譲されるが、通常時も移譲してほしい。
	熊の捕獲権限を一部の市町村に移したり、駆除の実施を地元のハターに任せると密漁につながるという批判が多く出ている。
	春グマの駆除について県が行おうとしている計画を中止してほしい。
	サル被害地区において、人の生活圏に隣接する山林を県協力を得て整備（サルの隠れ家をなくす）したところ効果があった。他の地域にも広げたいので事業を継続してほしい。
	松くい虫被害対策における伐倒駆除の県独自の予算措置の拡充と空中薬剤散布の継続支援及びその予算措置の拡充
	松くい虫駆除の予防対策として空中散布が減らされているが、もう一度見直してほしい。
	上伊那地域で松くい虫の被害が広がり、防除対策を効率的かつ効果的に実施するため産学官が一体となり共同研究、技術開発を促進してほしい。
	松くい虫対策の補助制度の拡充、専門的な技術指導、広域的な県レベルでの蔓延防止対策とカツマツカガラムシの対策方法の確立、補助制度の創設
	最優先での森林保全、環境保全、景観保全への取り組み
	森林造成事業の補助率をこれ以上下げないよう要望
	間伐の材積を基準とした県単の補助制度創設（国の補助は間伐面積を基準）
	県税として森林整備に充てる財源の創設
	森林環境税を森林整備の財源として導入してはどうか
	中・大型風力発電の建設を県環境影響評価条例の対象事業へ追加
	市町村には風力発電に関する専門的知識をもつ職員がいないため、環境保全研究所など専門的な立場で指導してほしい。
	アボイドマップのデータ管理において、各部署にあるデータが一括処理されていないと聞いたので、体系的に構築してほしい。（風力発電計画関連）
	愛・地球博で「自然の叡智」を提唱した方を本県のアドバイザーに登用
地球環境	<p>エコロジーを推進し、エコカーや風力、太陽光等の発電など考えられる方法を駆使した全国一環境にやさしい県にしてほしい。</p> <p>エコカーに関し、購入助成の拡充や有料道路の無料化など優遇措置を設け、より一層の促進を図る。</p>

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項目	意見・提言等
	暖機運転による CO2 排出を削減するため、車庫・カーポートへの建設費補助を県と市町村で行うべき。
交通基盤	<p>松本空港札幌便の存続</p> <p>//</p> <p>松本空港札幌便の存続にあたって機材を限定せずに働きかけるのも一つの手かと考える</p> <p>大手の航空会社にとらわれず、コミューター航空会社（小型機で地域間を結ぶ航空会社）を視野に入れた松本空港の活性化</p> <p>北アルプスを空から観光するマウンテンフライトによる信州まつもと空港の活性化</p> <p>伊那谷に飯田線との接続に配慮したリニア新幹線駅の設置</p> <p>北陸新幹線飯山駅設置に伴う JR 飯山線飯山駅移設統合事業と広域的アクセス道路の整備への財政面を含めた支援</p> <p>長野以北並行在来線存続のための調査研究の積極的な予算措置と、他県の経営分離の状況等の情報収集と開示を十分に行い、協議の迅速化を図ってほしい。</p> <p>長野～直江津間をどのようにするかの基本方針について沿線市町村や新潟県との十分な協議</p> <p>JR 篠ノ井～長野間の問題は、しなの鉄道と一体的な経営も視野に入れ、よりよい結果を導き出してほしい。</p> <p>中部横断自動車道の早期実現</p> <p>長野県全体を仕事でまわっているが、県内を移動するのに東京へ行くのと時間が変わらない。長野県の道路事情にビックリした。かなり不便。高速とは別に低価格での連絡道路のようなものがあると良い。</p> <p>上田・松本間の移動時間短縮と松本空港利用促進のため、東信と中信を直接結ぶ高速交通網の整備</p> <p>松本系魚川連絡道路の早期実現。大町以北の全線を調査区間に、そして雨中地区を整備区間へ格上げし一日も早く着工してほしい。</p> <p>松本系魚川連絡道路の建設に当たっては、「長野らしさの代表・安曇野」（田園風景と景観）の維持・継承に配慮してほしい。</p> <p>上信自動車道（群馬県渋川～東御市の高規格道路）も群馬側では着工しているが長野県側では姿が見えない。地域連携の形でお願いしたい。</p> <p>刈平橋を契機とした道路整備によって中信と北信がスムーズに連携されたように、県内各地域間を結ぶ幹線道路の整備は活力ある地域づくりを進める上で大変重要。</p> <p>観光と農業・商業・工業の連携による新たな観光の創出、観光資源間の連携・交流による魅力増大等の地域間連携を図る観点から地域間連携道路の整備を促進してほしい。</p> <p>過疎辺地の道路整備が遅れているため、そこに住む住民の居住福祉の観点から公共事業の採択基準の特例を設け進捗を図ってほしい。</p> <p>歩道、身障者用道路の整備</p> <p>でこぼこしている道路が多いので、快適に運転できる道路づくりをしてほしい。</p> <p>JR 中央本線のスピード化や安全運行についての積極的な取り組み</p>



## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項目	意見・提言等
	<p>町の路線バスは広域的に利用されていて県立高校と県立病院の利用者が多いため、県独自の支援策を検討してほしい。</p> <p>地域で弱者を守る体制を強化するため、ボランティア団体等への物的・人的支援の推進やタクシー・小型バス等の公共交通機関や地域の医療・福祉体制の充実。</p> <p>環境先進県をアピールし、観光を発展させるための長野駅前から善光寺までのLRT（軽量軌道鉄道）の整備</p>
情報化	<p>デジタル化への対応のための町のCATV施設の改修と情報格差解消のための超高速ブロードバンド対応に伴う町の施設整備への財政支援</p> <p>地上デジタル化に向けたCATV改修整備への財政支援</p> <p>H17に廃止となった県単の情報通信基盤整備事業の復活</p> <p>地域間の情報通信格差是正（携帯電話不感地帯の解消）に対する県の支援</p>
住まい・住環境	<p>町税の徴収率を上げるため、県営住宅の入居あるいは所得税調査の際に、納税していることを義務付けとして、県営住宅へは税金を払っている人だけに入居を許可するようにしてほしい。</p>
まちづくり	<p>中心市街地の活性化に力を入れてほしい</p> <p>上田市のJT跡地問題で、JTは大型小売店を誘致しようとしておりコンパクトシティ建設の夢が遠ざかると心配。上田市、東信一帯、全県のためになるものを誘致するよう検討願いたい。</p> <p>福島県が全国に先駆けて大型店出店規制条例を出した。上田市のJT跡地に大型小売店を誘致すれば、現在のその駅前店は閉鎖になると思われるが、車を運転できない高齢者は大変困るので何らかの規制が必要。</p> <p>区画整理事業について、昭和62年から始まった事業について未だ市と解決に至っていない。</p> <p>人の温かさに触れられる空間にするため、市街地に歩行者用道路等の社会基盤の整備を進めてほしい。</p> <p>子どもや高齢者への犯罪・事故を未然に防ぐため、車両の入れない生活ゾーンや楽しく安全に歩ける歩道、子どもの遊び場の整備</p> <p>街の環境を意識した一般車両乗り入れ禁止区域などの義務化</p> <p>環境意識を高める街中での親水空間を確保するための2段式河川（下に本流、上を親水空間とする都市型河川）の採用</p> <p>国営アルプスあづみの公園大町・松川地区の早期開園と整備促進</p> <p>犬を譲渡された者へ避妊去勢手術を誓約させることと追跡調査、猟犬や繁殖業者の犬へのマイクロチップの埋め込みの義務付け、犬がいなくなった時の探し方の広報</p> <p>動物愛護に関する条例の制定</p>
景観	<p>景観保全のため、街中でのマンション建設の際の高さ規制と植樹帯の設置</p> <p>最優先での森林保全、環境保全、景観保全への取り組み</p> <p>中・大型風力発電の建設を県環境影響評価条例の対象事業へ追加</p> <p>市町村には風力発電に関する専門的知識をもつ職員がいないため、環境保全研究所など専門的な立場で指導してほしい。</p>

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項 目	意見・提言等
	風力発電のアボイドマップの全県下での作成
治山・治水・砂防	住民が安心して日常生活が送れるよう、堰堤やダム等必要なものは造ってほしい。
	自然環境への負荷を考慮した治水対策
	公共事業による自然環境破壊の抑止に努めてほしい
	〃
	環境先進県として現在の護岸とビ`ホ-プ`の間を取ったような新しい環境保全型護岸工法の開発
	県管理の河川は県において固定式排水ポンプの設置と設置されるまでの間の移動式排水ポンプの配備をしてほしい。
	内水排除のためのポンプ車の設置
	土砂災害防止法に係る特別警戒区域内について、ソフト対策の充実とともに、ハード対策も平行して推進してほしい。
	中間山地域に住む住民の生命・財産を守るため砂防事業を積極的に採用
	県単急傾斜崩壊防止対策事業で土木部が行う事業は木を丸坊主に切ってしまうが、木を残してほしい。
	造林地では除間伐で雪の被害を最小限に抑えられるので、林業公社では保育事業量を大幅に増やしてほしい。
	森林造成事業の補助率をこれ以上下げないよう要望
	間伐の材積を基準とした県単の補助制度創設（国の補助は間伐面積を基準）

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項目	意見・提言等
道路（特定の道路に係るもの）	国道 141 号の 4 車線化の早期実現
	国道 141 号（南牧村海尻地区）の改良
	国道 299 号整備促進
	国道 254 号バイパスの早期整備
	主要地方道川上佐久線の通年利用可能化
	主要地方道小諸軽井沢線塩野バイパスの早期着手
	県道松原湖高原線の整備
	県道上野小海線の早期全線改良
	浅間サンラインの県道移管
	上小 3 0 交通圏構想の早期実現に向けた国道・県道等の主要幹線道路の整備促進
	国道 142 号線笠取峠の一部トンネル化、日影部分へのスノーシェットの設置、凍結防止対策
	国道 143 号青木峠トンネルの早期着工
	国道 152 号線バイパスの再構築
	国道 254 号線を補完する自動車専用道路の建設
	和田バイパス先線の鍛冶足地籍の歩道設置等改良
	田中街路事業先線（東部望月線）の早期事業化
	観光の地域間連携や、上田駅を交通結節点とした鉄道・バス・マイカーを活用した新たな連携・交流を推進するための地域間連携道路の整備促進
	三才山トンネルの大型車通行を値上げし、その分で平井寺トンネルを無料化してほしい
	国道 153 号伊那バイパスの整備促進
	伊那バイパス工事の促進
	辰野町内における国道 153 号線等の渋滞解消と安全対策の推進
	主要地方道駒ヶ根長谷線中沢地域バイパス 2 期の事業化
	一般県道宮田沢渡線の歩道設置
	高遠箕輪線の箕輪ダム上流部の狭隘、危険箇所の整備
	箕輪ダムに通じる町道の県道への格上げとダム下流の危険箇所の整備
	伊那西部広域農道の県道格上げ
	国道 151 号粒良脇トンネルの改良促進
	国道 418 号の改良整備促進
	国道 418 号の改良促進
	国道 418 号売木峠バイパスの整備促進
主要地方道飯田富山佐久間線の改良整備促進	
主要地方道松川インター大鹿線の整備促進	

# 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項 目	意見・提言等
	一般県道親田中村線の改良促進
	喬木村内の県道改良促進と上飯田線馬場地区の歩道の早期設置
	県道伊那生田飯田線の弁天橋付近の渋滞対策のための改良
	竜東地域の発展のための天竜川への架橋
	国道 19 号の迂回路（旧木曾福島町と旧日義村境）の検討
	木曾川右岸道路の南部ルート未整備区間等の早期着工
	木曾地域の国道 19 号のトラック交通量の減少を図るため、木曾地域の生活環境整備に使う目的税を通過するトラックに課税
	姥神峠道路の延伸
	主要地方道「中津川南木曾線」「中津川山口線」の改良促進
	主要地方道「奈川木祖線」の改良整備促進
	国道 148 号国直轄改良事業の推進
	県道千国北城線の改良促進
	新国道上田篠ノ井間(18 号バypass)の建設促進
	長野地域合併建設計画で県事業として地域交通基盤の整備を掲げているが、長野市にとっては県と連携した道路網の整備が必要不可欠であるので、積極的な取組みを期待。
	主要地方道長野大町線の歩道改良促進と歩道・道路脇の除雪対策
	県道豊野南志賀公園線の道路防災対策と拡幅の推進
	県道小川長野線の改良促進
	飯綱東高原へのアクセス道路(町道)の県道格上げ
	白馬長野有料道路、日高トンネルの通行無料化
	日高トンネルの早期無料化
	昭和橋(坂城町)を土木遺産として守っていくことへの支援
	山ノ内町の国道 403 号の早期改良
	北陸新幹線飯山駅設置に伴う広域的アクセス道路の整備

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項 目	意見・提言等
治山・治水・砂防（特定の箇所に係るもの）	あちばけダムの建設促進
	矢出沢川の事業促進
	岡谷の湊地区に計画している砂防ダムについて、森林整備による緑のダムをつくる考えはないか。
	諏訪湖の護岸の下の県管理部分の手入れをきちんと行うなど諏訪湖周辺の環境整備
	天竜川流域について一級河川、溪流の計画的な砂防・治水・治山施設整備事業の推進
	釜口水門からの放流量が 400 m <sup>3</sup> /s から 430 m <sup>3</sup> /s に増加することに伴う下流防災対策の早期実施
	現状の天竜川の護岸構造では諏訪湖の約 420 トン/S の放流は無理な量である
	天竜川流域の土砂災害警戒区域・特別警戒区域の早期調査・指定
	小渋ダム堰堤改良事業の促進
	上村護岸工事等の早期施工
	地形が急峻で地質がもろく雨が多い木曾地域における砂防事業、治山事業の推進
	旧県政で中止・縮小した公共事業（筑北村の砂防ダム：高さ 28m 予定を 20m に縮小）について見直す機会はあるか。ぜひ対応を。
	浅川地区に穴あきダムを造るという計画があるが、脆い地盤にダムを造って安全なのか。
	八木沢川流域の抜本的な内水対策を地元公共団体と共に検討
	犀川にある水内ダム湛水区域の 3 社協定（県・東電・町）に基づく治水対策工事の早期完了と治水恒久対策工事の実施
夜間瀬川（支流の横湯川、角間川含む）の河床整理の推進	

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項目	意見・提言等
県民の参加	様々な実践活動を展開している団体、個人と知事との車座集会を開催し、住民自ら地域の自然や立地条件等をどのように生かして特色あるまちづくりを進めるのか直接意見交換してほしい。
市町村が主役の長野県づくり	
市町村への権限移譲	<p>県と市町村の役割分担の再構築を図るべきで、そのための審議機関の設置</p> <p>住民に最も身近な市町村の自己決定権を確立する必要があることから、県から市町村へ権限を委譲してほしい</p> <p>地方分権の推進と住民に身近な行政サービスの総合的な提供を目指し、市町村への事務権限移譲を抜本的に進め、広域連合に地方事務所等を統合した広域自治体としての広域連合を受け皿として、県の事務権限と各市町村における共通事務をできるだけ広範囲に移譲してはどうか。</p>
市町村合併	<p>地方分権が進む中、改めて市町村合併を進めたいと考えているので、具体化の場合、県に支援、協力してほしい。</p> <p>「自主的な市町村の合併の推進に関する構想」の作成及び県の合併支援の充実強化</p> <p>県で合併構想を策定する審議会の設置準備をしているが、足腰の強い基礎自治体をつくるため、この構想において、県が合併の枠組みを提示するなど積極的な姿勢を示してほしい。</p> <p>県が設置する市町村合併に関する審議会は、意見を聴く機関としてのみでなく、勧告を行うなど、合併を希望する市町村を支援してほしい。</p> <p>県の合併推進審議会設置が合併を押し付けることにつながらないよう慎重な対応</p>
市町村の行財政基盤の強化	<p>小規模村に対する支援として、小規模自治体に配慮した地方交付税の確保を国へ働きかけてほしい</p> <p>小規模自治体に配慮した地方交付税の確保を国へ働きかけてほしい</p> <p>村の財政再建に向けた財政運営等に対する指導・助言、制度面、財政面、人的な面からの総合的支援</p>
県職員の派遣等人的的支援	<p>小規模村に対する県からの人的支援をはじめとした総合的な支援</p> <p>県職員（専門職）の人的支援</p> <p>県職員の派遣研修の継続</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
他県との連携	県境の課題を協議等するため、岐阜県側と副知事同士の話し合いをしてほしい。
行財政運営	<p>行政機関に夜間・休日の常設窓口（保健所・児童相談所・災害関係等）を設置し、24時間いつでも責任のある対応とよりきめ細かな県民サービスを提供する。</p> <p>下伊那地方のふるさと振興局の継続強化</p> <p>「上小」という言葉には東御市が入っていない。上小地方事務所の名称の検討を。</p>

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項 目	意見・提言等
	<p>県職員に寒冷地手当を支給するなら住民にも寒冷地控除をしてほしいし、寒冷地手当を削った分は福祉等に回してほしい。</p>
	<p>財政状況が悪いにもかかわらず副知事を2名置くのはいかがか</p>
	<p>真に必要な公共工事の実施</p>
	<p>〃</p>
道州制	<p>道州制の区割りについて、木曽は木曽川の流りに沿い、東海、中京圏との繋がりが深い。</p>
	<p>長野県が中心の道州制を組んでもらいたい。</p>

## 長野県中期総合計画（仮称）意見・提言一覧表

項目	意見・提言等
基本目標等	<p>基本目標を「安心が実感できる長野県づくり」又は「安全安心で快適な暮らしやすい長野県」とし、キャッチフレーズを「生き生きとした『長野県』」とする。</p> <p>基本目標を「22世紀の県民に残す信州遺産の保全」とする</p> <p>基本目標を「企業を活かし、子どもをはぐくむ‘ワーク・ライフ・バランス’先進県へ」とする</p> <p>基本目標を「豊かな自然の後世への伝承」とし、キャッチフレーズを「美しい信州」とする</p> <p>キャッチフレーズを「田舎五重奏 長野県 ～山・川・風・林・土～ 東京からも近いぞ!」とし団塊の世代の移住を狙うべき。</p> <p>信州の地で暮らしてきた先人の営みを受け継ぎ、これからもこの地で「ともに生きよう」という県民が共有できるメッセージを発信する。</p>
長野県らしさ	<p>豊かな自然（山・川・湖）</p> <p>自然豊かで景観のすばらしい地域がたくさんあることや、地域の風習等も日本を感じさせる物が数多くあることから、良い意味で「日本の田舎」である。</p> <p>山岳観光、美しい農村景観・田園景観、古社寺、多様な地域からなる多文化の社会</p> <p>自然から生まれてくる「ひとの温かさ」</p> <p>正直で勤勉な県民性</p> <p>親切で情に厚い県民性</p>
その他	<p>夢やビジョンを持って知事が長野県でこれをやりたいという施策を打ち出してほしい</p> <p>計画を策定する前に県民が参加して地域を学ぶ点検・調査・立案の過程をもうける</p>